

松川 ほんほんよ

No. 2

悠久の歴史が眠る日本の原風景



部奈の見どころ、聞きどころ

◆ 前田諏訪神社

大永2年(1522年)男山八幡より神霊(誉田別命)を請け部奈八幡宮として祀ったのが始まりと云う。安永4年(1775年)諏訪上社より分霊を請け健御命名を祀ったので二柱の神社となった。



◆ 部奈大堤

大昔から水不足に苦しむ部奈の人々が、江戸時代後期に2年4ヶ月を費やして延長約12kmの井水を作り、その2年後に完成した一番大きな溜池。



◆ 縄文遺跡

直径9mの円状に並べられた祭祀の配石遺構。あらゆる精霊や先祖霊のまつりが行われていた広場と考えられている。



◆ 中央アルプスと杉野屋の桜

樹齢約200年 残雪の中央アルプスを背景にした美しさが魅力で近年カメラマンが多く訪れる部奈地区の隠れた名所。



◆ 部奈の石仏

才の神：部奈には100ほどの石仏・石碑があり、ここ才の神にある石仏群は西から馬頭観音、如意輪観音、庚申三尊像の石仏群、北へ大国主命、富明霊神の方柱が並んでいる

